

目次/編集方針

トップメッセージ

グループ概要

ニコンのCSR

事業を通じた
社会への貢献環境問題
への対応

CSRの基盤強化

企業市民活動

データ集ほか

>ニコンの環境経営 >環境推進体制 >低炭素化の推進 >資源循環の推進 >健康と安全への配慮

環境問題への対応

重点課題

- 4 低炭素化の推進 [▶P60](#)
- 5 資源循環の推進 [▶P68](#)
- 6 健康と安全への配慮 [▶P76](#)

重要と考える理由

異常気象の多発など気候変動の影響が顕在化する中、IPCCの特別報告書「1.5℃の地球温暖化」の発表などにより、気候変動抑制に向け、より革新的な取り組みや更なるスピード感が求められるようになってきています。また天然資源の枯渇や廃棄物問題などから、資源を消費するのみの経済ではなく、資源を循環させるサーキュラーエコノミーが注目されています。一方で、製品含有の化学物質管理においては、法規制対象となる物質および適用地域が着実に拡大しており、企業は事業活動を行う上でこれらに適切かつ確実に対応していく必要があります。

コミットメント

2018年11月、ニコンは気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に署名しました。低炭素経済への移行に貢献すべく、ステークホルダーからの気候変動に関する情報開示要請に対応していきたく考えています。

ニコンは「低炭素社会の実現」「資源循環型社会の実現」「健康で安全な社会の実現」を環境長期ビジョンとして位置付け、その実現に向けてさまざまな活動を推進していきます。

引き続き、開発・生産プロセスの効率化や再生可能エネルギー利用の拡大をはじめ、製品の小型化・軽量化や製品使用時の消費電力削減など、サプライチェーン全体での温室効果ガス削減に取り組んでいきます。

また、資源の効率的利用や3Rの推進、化学物質の適切な管理などによる環境負荷低減を推進していきます。

取締役 兼 常務執行役員 人事・総務本部長 環境委員会委員長 小田島 匠

活動方針

- ニコン環境長期ビジョン
- ニコン環境活動方針
- ニコングリーン調達基本方針
- ニコングリーン調達基準
- 紙調達方針

体制

- 環境委員会

マネジメントシステム

- ISO14001

目次/編集方針

トップメッセージ

グループ概要

ニコンのCSR

事業を通じた
社会への貢献環境問題
への対応

CSRの基盤強化

企業市民活動

データ集ほか

>ニコンの環境経営 >環境推進体制 >低炭素化の推進 >資源循環の推進 >健康と安全への配慮

ニコンの環境経営

ニコングループでは、環境長期ビジョン・環境中期目標・環境アクションプランを定め、持続可能な社会の発展に向け、体系的に環境活動を展開しています。

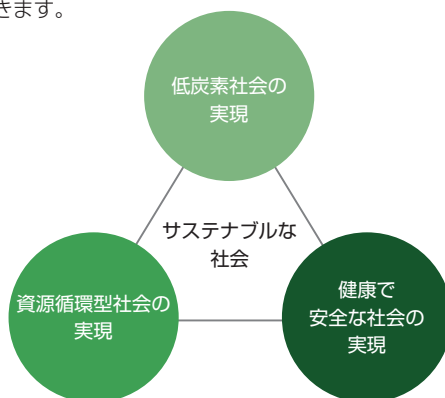
環境の長期ビジョンと中期目標の策定

ニコングループでは、環境リスクや規制に積極的に対応していくため、2016年4月に数十年先の未来を見据えた「ニコン環境長期ビジョン」を策定しました。

このビジョンでは、世界の状況や、限りある資源を使用して製品を製造・販売しているというニコンの事業の性質から、特に重要と考えられる3つを柱として設定しています。

ニコン環境長期ビジョン

ニコングループは、「低炭素社会の実現」「資源循環型社会の実現」「健康で安全な社会の実現」を環境長期ビジョンとして位置付け、サステナブルな社会の構築に貢献していきます。



環境中期目標

ニコングループでは、環境長期ビジョンの実現に向け、2030年までに取り組むことを「ニコン環境中期目標」に定めています。3つの柱それぞれの目標は次の通りです。

「低炭素社会の実現」に関する中期目標

- ・ サプライチェーン全体で、CO₂排出量を2013年度比で26%削減する
- ・ 気候変動対策に資する技術開発などに取り組む

「資源循環型社会の実現」に関する中期目標

- ・ 製品の企画段階から環境への影響を考慮し、製品のライフサイクルを通じて、資源循環型社会実現に向けて努力する
- ・ 事業活動において、環境負荷の少ない資源の活用を強化し、廃棄物の削減に努めるとともに、循環資源化率のさらなる向上に取り組む

「健康で安全な社会の実現」に関する中期目標

- ・ 地域の自然環境の維持と、快適な生活の提供をめざす
- ・ 各国・各地域の法令・規制などを確実に遵守することはもとより、自主目標を定め、化学物質の使用を適切に管理する

環境アクションプラン

ニコングループでは、環境中期目標の達成に向け、「環境活動方針」を定め、また、5~10年後にあるべき姿を設定しています。そして単年目標を「環境アクションプラン」と位置付け、ニコングループ全体へと展開しています。これらの目標や計画の策定にあたっては、事業活動における環境との関わりを明確にし、環境負荷や環境リスクの大きさを的確に把握することで優先順位を付けています。

また、実績については、自己評価を環境委員会にて審議・承認するとともに、抽出した課題をもとに、次年以降の活動を見直しています。

▶ニコン環境活動方針

https://www.nikon.co.jp/sustainability/environment/environment_policy.pdf

目次/編集方針

トップメッセージ

グループ概要

ニコンのCSR

事業を通じた
社会への貢献環境問題
への対応

CSRの基盤強化

企業市民活動

データ集ほか

>ニコンの環境経営 >環境推進体制 >低炭素化の推進 >資源循環の推進 >健康と安全への配慮

環境アクションプラン2019年3月期実績【概要】

自己評価 ○:達成 △:着手したが未達成

重点活動テーマ		2019年3月期目標	実績	自己評価	該当ページ
低炭素社会	温室効果ガス削減 (エネルギー起源CO ₂)	・事業所のCO ₂ 排出量を2014年3月期比で14.4%以上削減 ・再生可能エネルギー動向調査 ・SBT設定	・年間CO ₂ 排出量は前年度比6.8%減となり、2014年3月期比19.3%減を達成 ・太陽光発電を中心に検討し、搭載可能な範囲を導いた。具体的な搭載について引き続き検討を進める ・SBT設定。コミットメントレター提出	○	P62
	製品の環境負荷低減 (資源効率の向上)	・LCA手法を活用した環境影響評価推進 ・環境配慮製品の創出	・LCA算定対象機種拡大 ・2019年3月期新製品の約60%を環境配慮製品に認定	○	P56
	輸送における 環境負荷低減	・CO ₂ 排出量の継続的把握 ・国際間物流での積載率向上、モーダルシフトの推進 ・国内物流経路の見直し継続	・CO ₂ 排出量算出データを収集、分析 ・鉄道輸送推進、船便率向上、産直拡大に向けての試算や実験の実施 ・国内物流における高効率輸送の取り組み継続	○	P66
資源循環社会	ゼロエミッション	・ニコンおよび国内グループ生産会社:レベルS維持 ・中国グループ生産会社:レベル1維持	・ニコンおよび国内グループ生産会社:レベルS維持(最終(埋立)処分率0.41%) ・中国グループ生産会社(光硝子常州、南京ニコン):レベル1維持(最終(埋立)処分率0.65%)	○	P72
	廃棄物削減 (有価物除く)	・ニコンおよび国内グループ生産会社:前年度排出量以下 ・化学物質の再利用の施策推進	・ニコンおよび国内グループ会社の有価物を除く廃棄物排出量は前年度比78.3%を達成 ・廃棄物再利用に向け、研磨剤の再利用方法を確立。グループ内研磨職場への展開予定	○	P72
	水の適正使用と 有効利用の推進	・各地区の水リスクの程度に合わせた水利用効率向上の目標策定	・超純水装置の排水の再利用による水使用量削減を目標に設定	○	P74
	リデュース・リユース・ リサイクルの推進	・製品と部品、材料の再利用推進	・半導体露光装置の中古品販売継続 ・半導体露光装置におけるリユース、リデュース活動で3R推進協議会会長賞受賞	○	P68
健康で安全な社会	化学物質の環境影響低減活動	・ニコングループ化学物質管理ガイドラインに基づく活動の推進	・全部署で1-プロモプロバンの全廃施策決定し、半数の拠点で代替完了	○	P80
	地域活動等	・事業活動や地域のニーズと合わせて生物多様性を考慮し、地域貢献活動を実施	・事業所周辺の清掃・草刈りや地域の環境保全活動に、789名の従業員が参加	○	P83
	有害化学物質の 削減等	・各国の有害化学物質法規制(RoHS指令、REACH規則等)の遵守継続 ・chemSHERPA*本格運用開始	・各国の有害化学物質法規制(RoHS指令、REACH規則等)を遵守 RoHS指令対象物質の4種フタレートについて代替が完了 ・すべての部門でchemSHERPA導入済み	○	P76
	生物多様性の 保全活動推進	・ニコンのロゴマークが印刷されている紙媒体において、新規作成成分のFSC認証紙化を推進する	・製品カタログ:国内新規発注分は、特殊紙を除き99%がFSC化対応 ・取扱説明書:国内新規発注の半数以上でFSC化対応 ・製品化粧箱:双眼鏡等でFSC化対応開始	○	P84
グリーン調達	・環境パートナーに対するニコングリーン調達の監査業務の効率化	・トライアルとして適用対象の2割に対し運用開始	△	P78	

* chemSHERPA
製品含有化学物質の情報伝達ツール。

目次/編集方針

トップメッセージ

グループ概要

ニコンのCSR

事業を通じた
社会への貢献環境問題
への対応

CSRの基盤強化

企業市民活動

データ集ほか

>ニコンの環境経営 >環境推進体制 >低炭素化の推進 >資源循環の推進 >健康と安全への配慮

環境アクションプラン2020年3月期目標【概要】

重点活動テーマ	2020年3月期目標	5～10年後にあるべき姿		
低炭素社会	温室効果ガス削減	・エネルギー起源のCO ₂ 排出量を2019年3月期比で1.0%以上削減 ・再生可能エネルギーの導入計画作成、施策の実施 ・SBT認定申請	・2030年までにサプライチェーン全体で、CO ₂ 排出量を2013年度比26%削減する	
	製品の環境負荷低減 (資源効率の向上)	・LCA手法を活用した環境影響評価推進 ・環境配慮製品の創出		
	輸送における 環境負荷低減	・CO ₂ 排出量を2019年3月期比2.7%削減 ・国際間物流での積載率向上、モーダルシフトの推進 ・国内物流経路の効率化		
資源循環社会	ゼロエミッション	・ニコンおよび国内グループ生産会社：レベルS維持 ・中国グループ生産会社：レベル1維持 ・海外グループ生産会社：国の事情に沿った取組実施	・事業活動において、環境負荷の少ない資源の活用を強化し、廃棄物の削減に努めるとともに、循環資源化率のさらなる向上に取り組む	
	廃棄物削減(有価物除く)	・ニコンおよび国内グループ生産会社：2019年3月期排出量以下 ・海外グループ生産会社：排出量削減施策検討 ・ニコンおよび国内外の生産会社：化学物質の再利用の施策推進		
	水の適正使用と 有効利用の推進	・生産系事業所：水利用率向上のための施策確定 ・ニコングループ全体：水リスクの調査開始		・水使用量削減を推進するとともに、雨水・地下水の有効利用、排水の再利用等の地域に即した資源循環を推進する ・水リスクの対策に積極的に取り組む
	リデュース・リユース・ リサイクルの推進	・製品と部品、材料の再利用推進		・製品の企画段階から環境への影響を考慮し、製品のライフサイクルを通じて、資源循環型社会実現に向けて努力する
健康で安全な社会	化学物質の環境影響 低減活動	・ニコングループ化学物質管理ガイドラインの遵守	・地域の自然環境の維持と、快適な生活の提供をめざす	
	地域活動等	・事業活動や地域のニーズと合わせて生物多様性を考慮し、地域貢献活動を実施		
	有害化学物質の削減等	・各国の有害化学物質法規制(RoHS指令、REACH規則等)の遵守 ・chemSHERPA運用継続		・各国、各地域の法令、規制等を確実に遵守することはもとより、自主目標を定め、化学物質の使用を適切に管理する
	生物多様性の 保全活動	・ニコンのロゴマークが印刷されている紙媒体について、新規作成分のFSC認証紙化を推進		・生物多様性の保全活動を推進する
グリーン調達	・独自調達品への対応策決定	・サプライチェーンにおける環境管理体制の維持管理		